

広がりや収益性の高さを見せるメタバースライブ

グローバル仮想世界株式戦略ファンド
愛称：フューチャーメタバース
追加型投信/内外/株式

- ▶ 当ファンドの**2022年11月28日の基準価額は1万口当たり8,039円**となりました。本レポートでは、第1期決算(2022年9月20日)以降の当ファンドの基準価額の推移と投資環境についてご説明致します。
- ▶ 加えて、当ファンド主要投資対象のグローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)を運用するニューバーガー・バーマンが独自に分類するメタバース関連3分類のひとつ、『**メタ・サービス**』における**最新のトピックとその関連銘柄**についてご紹介致します。

基準価額の推移と投資環境について

当ファンドの11月28日の基準価額は8,039円となり、第1期末(9月20日、8,200円)からの騰落率は▲1.96%となりました。

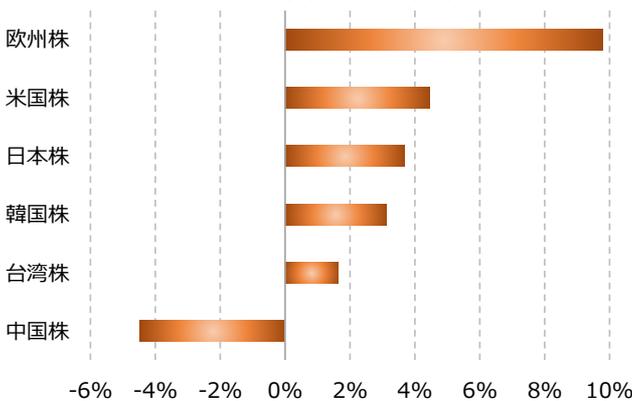
この間の投資環境を見ますと、米国では消費者物価指数(CPI)や生産者物価指数(PPI)の対前年比での伸び鈍化が鮮明となり、**インフレがピークアウトしたとの見方**が広がりました。これを受けて、今後の米金融当局による利上げピッチが鈍化するとの期待から株価は上昇したものの、それまでの米金利上昇を背景としたドル高は一服し、対円でもドルは下落しました(円高ドル安)。欧州でも、**利上げピッチの鈍化期待や天然ガス価格の下落**などから景気の先行きに対する悲観的見方が一旦後退し、株価は大きく上昇しました。一方で中国では、主要な人事を決める共産党大会において**習近平総書記の三期目続投と権力集中が鮮明**となり、今後の政策運営で独裁色を強めるとの懸念が強まったことなどから、株、通貨(人民元)ともに下落しました。

[図表1. 設定来の基準価額の推移]
(期間：2022/3/22～2022/11/28、日次)



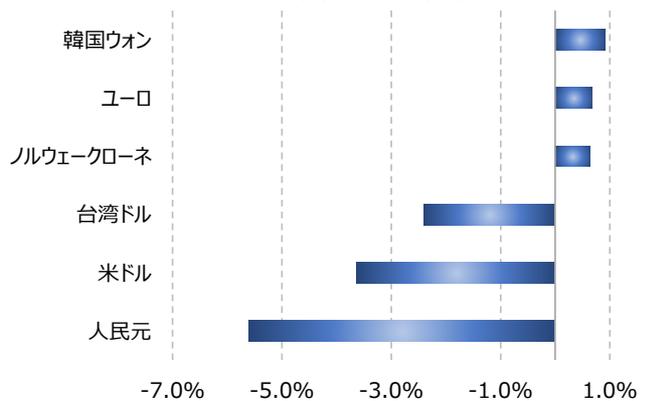
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆又は保証するものではありません。

[図表2. 主要投資国の株価指数騰落率]
(期間：2022/9/20～2022/11/24)



※欧州株-ストックス・ヨーロッパ50指数、米国株-S&P500種指数、日本株-TOPIX(東証株価指数)、韓国株-韓国総合株価指数、台湾株-加権指数、中国株-上海/シンセン CSI300指数
※米国株は2022/9/20～2022/11/23

[図表3. 主要投資国通貨の対円での騰落率]
(期間：2022/9/20～2022/11/24)



(出所) 図表2,3はBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

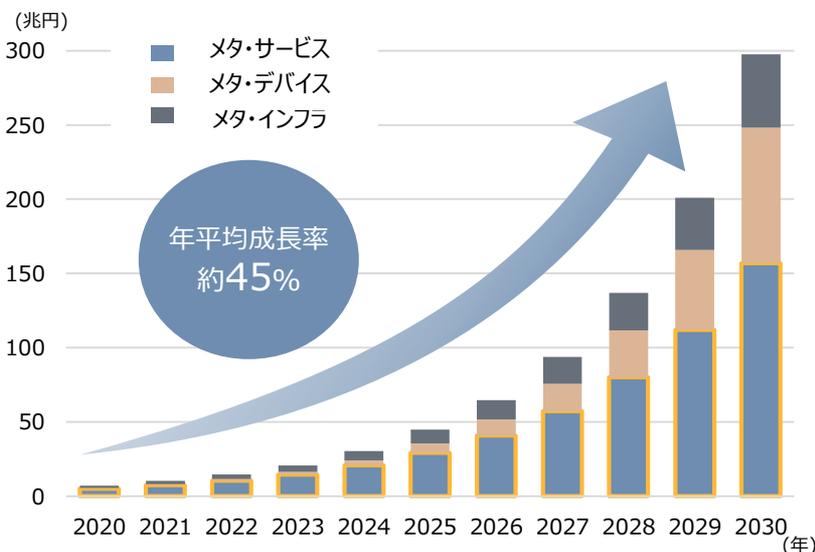
高成長が見込まれるメタバース関連市場

当ファンドではメタバース関連市場を**メタ・サービス**、**メタ・デバイス**、**メタ・インフラ**の3つに分類しています。

メタバース関連のビジネス例

メタ・サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム 音楽ライブ、スポーツ観戦 仮想オフィス、工場
メタ・デバイス 	<ul style="list-style-type: none"> VRヘッドセット ARデバイス（スマホ・タブレット） IoTデバイス
メタ・インフラ 	<ul style="list-style-type: none"> データセンター 無線通信 サイバーセキュリティ

メタバース関連市場規模の予測



※2020年実績値。2021年以降はニューバーガー・バーマンによる2021年12月末時点の予測
 為替は2022年10月31日時点のレート(1米ドル=148.71円)で円換算

(出所) ニューバーガー・バーマン、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

現実世界を大きく上回るメタバースライブ

今回は**メタ・サービス**の中から実際に広がりを見せている「**音楽ライブ・スポーツ観戦サービス**」を紹介します。

登録者数4億人を超えると見られる人気オンラインゲーム「フォートナイト」。そのフォートナイトで米国の人気歌手トラヴィス・スコットが2020年に開催したメタバースライブでは、**3日間累計で約2700万人がライブを視聴、同時接続数は1230万人以上**に上りました。売上はグッズ販売含め2000万ドルに上ったと報じられています。

日本においては、人気音楽グループYOASOBIがメタバースではないものの、2021年に初ライブをストリーミング配信で実施、チケット販売数は約4万枚と報じられています。これは**日本武道館の収容人数約1.5万人の3倍近い売上**です。

スポーツ観戦ではKDDIがサッカー日本代表のワールドカップ予選をメタバース内のパブリックビューイングで観戦するイベントを開催。国際サッカー連盟であるFIFAもオンラインゲームプラットフォームである米国ロブロックス内にFIFA Worldと呼ばれるメタバース空間を構築しました。今月20日から開催されているカタールワールドカップに合わせて、これらのメタバース空間も大きく盛り上がるのが期待されます。

このように音楽ライブ、スポーツ観戦など現実世界の体験をメタバース化する動きが加速しています。**メタバースでは世界中の誰もが繋がることができ、建物の収容人数制限といった制約も無いため、現実世界を上回る参加人数、売上を見込むことが出来る**のです。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

「メタバース音楽ライブ」はじめ様々なメタ・サービスを実現する企業

- メタバースライブの実現には様々なプレイヤーが必要です。特にメタバース以外で安定したビジネスを築いている多くの企業がメタバースへも参入しています。
- **コンテンツ**ではアーティストと契約しプロデュースを行っている**ユニバーサル・ミュージック・グループ**といった企業や、様々な映画やキャラクターコンテンツを所有するソニーグループ、ウォルト・ディズニー・カンパニーなどが挙げられます。
- 参加者が集まる**プラットフォーム**にはVRゲームプラットフォームを提供するロブックスやエピックゲームズ、バーチャル会議室などが利用出来るホライゾン・ワークルームを提供するメタ・プラットフォームズ、リアルタイムに3D映像を表示させるためのゲームエンジンを提供するユニティ・ソフトウェアなどが挙げられます。
- それらのメタバース空間に存在する**アバターや建築物、空間をデザイン**するために、3Dモデルを作成するソフトウェアを提供するダッソー・システムズやオートデスク、フォトショップといったデザインツールを提供するアドビなどが必要となります。
- 参加者とメタバース空間のタッチポイントとなる**VRデバイス**ではメタ・プラットフォームズが最大手です。ソニーグループも2023年に新機種の発売を発表し、アップルも2023年に発売を発売することが予想されています。
- VRデバイスやプラットフォームの動作を支える**半導体**では、クアルコムのモバイル向けプロセッサやエヌビディアのGPU(画像処理半導体)などが中心となると見込まれます。

メタバースライブ関連銘柄

コンテンツ

- ユニバーサル・ミュージック・グループ
- ウォルト・ディズニー・カンパニー
- ソニーグループなど

VRデバイス

- メタ・プラットフォームズ
- マイクロソフト
- ソニーグループ
- アップルなど

半導体

- クアルコム
- エヌビディアなど

プラットフォーム

- ロブックス
- エピックゲームズ
- ユニティ・ソフトウェア
- メタ・プラットフォームズ
- マイクロソフトなど

アバター・空間デザイン

- ダッソー・システムズ
- オートデスク
- アドビなど

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

運用チームが特に注目するメタバース音楽ライブ関連銘柄

ユニバーサル・ミュージック・グループ（オランダ）

メタバース

×

音楽ライブ

ビジネス分類：メタ・サービス関連 業種：メディア・娯楽

(GICS産業サブグループ：メディア・娯楽)

【運用チームによる銘柄選択の主なポイント】

◎ 企業概要

- 世界最大の音楽会社。250以上のアーティストを擁し、米国の主要音楽ランキングではトップ10の過半のアーティストが同社レーベルに所属。蓄積された膨大な音楽、映像コンテンツを所有し、メタバースでの展開を狙う。
- 2021年、同社はアバター技術企業Geniesと提携し、所属アーティストのアバターやNFT(非代替性トークン)を開発していくと発表。また類人猿をモチーフにした人気NFTでメタバースバンドを結成するなど、積極的にメタバースビジネスを展開。

〔図表4.UMG※の株価推移〕

(期間：2021/9/21～2022/11/24、日次)



※UMG-ユニバーサル・ミュージック・グループの略

◎ 投資のポイント

- 音楽、ビデオを中心に多くのコンテンツを所有。
- アーティストのメタバース展開により、ファンはアバター・衣服・アイテムを購入・収集し、メタバース上で利用できるようになる。
- 足下では、金利上昇に端を発したグロース(成長)株からの資金流出を受け株価が軟調に推移。同社の成長性やキャッシュフロー創出力、メタバース展開のポテンシャルを勘案すると、足下の株価の割安感が強く、投資魅力度が高いと判断。

〔図表5.UMGの売上高・EPSの推移〕

(期間：2016年～2023年)



※UMGは2021年9月上場のため、EPSデータは2020年からとしています。

(出所)図表4,5はBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※ 上記の個別銘柄はあくまで説明のための例示であり、投資先ファンドの組入れを示唆・保証するものではありません。また、特定銘柄の売買等の推奨、価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

<作成：運用本部>

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称 フューチャーメタバース）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - ：純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - ：純資産総額×年率1.948%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
 - お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
 - 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称 フューチャーメタバース）
販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

(2022年11月29日現在)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
株式会社仙台銀行	東北財務局長(登金)第16号	○			

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問い合わせ先>

 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)